

中村設計新聞

第十三号

六月十九日(土)くもり

「線の芸術」、「東洋の精神画」と言われている水墨画体験を行いました。

○はじめに



日頃、私たちは線を使って空間を設計しています。線一本でも太さ細さや実線、破線、点線等の表現があります。そこで、線の芸術といわれている水墨画を体験し線が持つ魅力を別の角度から学びました。

レポート

○水墨画体験



今回は水墨画の研修です。最初は硯で墨を磨る事から始まりましたが、力が入るため、腕がだるくなり筆が握れないの?と思うぐらい我慢の作業でした。いよいよ作画の開始です。課題は最初から決められた見本があつて画くのでは無く、その都度、先生から与えられる内容を表現するかたちで進められました。最初は、作品の仕上げる流れが掴めず戸惑いがありました。そのうちイメージが湧き、時間を忘れて画く事に浸っていききました。

そして、所員の完成作品を見ると構成や強弱、墨の濃淡などの表現によって、個々の感性がよく表れているなと感じました。

作品課題 夏椿



○作品発表

また、他の所員も「上手く出来上がった」と自分の作品には、満足気の様子が見え、絵を画く事の楽しさも、改めて感じとれたのではないのでしょうか。最近では筆やペンを執る事が少なくなりましたが、私もまた時間を作って、風景画でも描きたいと思います。

レポート 豊田 和弘

○まとめ

線の芸術と言われているだけあって、墨の濃淡で奥行きを表現して、空間を画ける事にとても魅力を感じました。そして所員に行ったアンケートでも皆、線が持つ魅力を感じたのと回答が得られました。

又、各々員の作品には、個性がでてどれも素晴らしい作品です。という内容の感想が多かったです。

水墨画を体験する事により行い線が持つ魅力を改めて感じられ、完成作品を見てみんなの意外な一面が見られたような気がしました。

作品課題 菖蒲



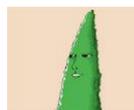
みなさんの心
魅かれる作品
はありましたか?



○グリーンカーテン

梅雨まつただ中、過ごしにくい日が続いていますが、ゴーヤことグリーンカーテンはすくすく成長を続けています。すでに3階まで到達!後はここからどこまで葉を広げ、これからの暑い日差しを遮ってくれるのか!期待しています!

○観察日記



蒸し暑い日にゴーヤチャンプルを食べて元気をつける!

今年初めての収穫となったゴーヤを今回、ゴーヤチャンプルにして美味しく頂きました。

苦い苦いゴーヤのはずですが、思っていたよりもあっさりしていて苦味も少なく、とても食べやすい味でした。元気に育つゴーヤを食べて私もこの蒸し暑さに負けず頑張っていけます!



美味しかったですか
これから真夏に向けて
一緒に頑張りましょう!